

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 海と希望の学園推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	総合政策課
施策①	学びと実践が循環しつながりを出創する生涯学習社会の形成	電話番号	0193-27-8413
施策②	大学や関係機関・団体等との連携強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
第六次釜石市総合計画に掲げる「一人ひとりが学びあう」地域の実現に向け、市全体が学びの場となる「釜石オープンフィールドカレッジ」の考えのもと、国立大学法人東京大学をはじめとする圏域内高等教育機関等と連携し、交流イベントを行う。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
本市には、釜石市国際外語大学校、岩手大学釜石キャンパス以外に高等教育機関の立地がなく、子どもから大人までが専門的な知見を得て学ぶ環境が十分とは言えない。そのような中、釜石市と東京大学が「連携協力の推進に関する覚書」を締結した。これをきっかけに、大学の知見を得ながら、シンポジウムや交流イベント等を共同開催することで、教育環境の充実や地域の人材育成を図ることが求められている。
目的
東京大学の知見を得ながら、シンポジウムや交流イベント等を共同開催することで、教育環境の充実を図るとともに、本市における大学のフィールドワークを推進しながら「釜石オープンフィールドカレッジ」を展開し、地域を牽引する人材の育成を図ることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
東京大学大気海洋研究所、社会科学研究所、生産技術研究所、先端科学技術研究センター及び圏域内高等教育機関と連携し、①「海と希望の学園」を開催 ②トークイベント及び交流イベントを開催する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
800 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
東京大学の4つの研究所から所長や教授が来訪し、学びのプログラム提供することは全国的に見ても例がなく、非常に魅力的な取り組みだと言える。これをきっかけに学びに関して先進的な取り組みをしていることをPRするとともに、本市を訪れる人が増加するよう推進されたい。また、この事業に関わらず東京大学との関係性を継続できるよう、引き続き取り組まされたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	総合政策課
施策①	学びと実践が循環しつながりを出創する生涯学習社会の形成	電話番号	0193-27-8413
施策②	大学や関係機関・団体等との連携強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
第六次釜石市総合計画に掲げる「一人ひとりが学びあう」地域の実現に向け、市全体が学びとなる「釜石オープン・フィールド・カレッジ」の考えのもと、修学旅行プログラムの構築や各種研修プログラムの構築、ワーケーション・スタディーケーションの推進、インターンシップの推進など、様々な「学び」の場を創出することで、釜石の未来を担う人材を育成するとともに、持続的な交流人口の増加を図る。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
集客力のある観光施設が少ない当市において、自然・歴史・文化・震災経験を活かした「学び」のコンテンツを活かしたプログラムを構築することで、交流人口を増やしたいが、現状は、各担当部署のイベントに依存した観光誘客体制となっている。部局横断的に「学び」や「地域貢献」などの価値を多面的に創出し、来訪後の関心の継続性をどのように保ち、交流人口の増加につなげていくかが課題となっている。
目的
当市の豊富な「学び」のコンテンツを活かしながら、当事業において、フィールドスタディプログラムを造成し、新たな「学び」の場を創出することで、域内の人々が「地域の魅力」や「釜石らしさ」を改めて認識し、釜石の未来を担う人材を育成するとともに、域外からの「釜石で学びたい」来訪者を増やし、持続的な交流人口の増加を図ることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
継続した「交流」を促進するための計画を策定する。地域コーディネータの育成など、来訪者の受入れ体制の強化を図る。来訪者へのモニタリング調査等を実施する。「学び」を活かした魅力的なプログラムの構築（修学旅行プログラムの構築・各種研修プログラムの構築。市内外に「学びのまち」の周知を図る。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
15000 千円	15000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
市で行われている学びの取り組みをプログラム化・パッケージ化し展開することで、市内の教育の質の向上、市外からも当市を訪れる人が増えることが期待でき、効果的な事業だと言える。既存の学びに関する事業をうまくパッケージ化し、つながり人口の拡大、魅力的な学びが提供できる環境を整えるとともに、学びの場としての価値をさらに高め、交付金終了後も事業者が自走できるように調整されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 放課後子ども教室推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	まちづくり課
施策①	学びと実践が循環しつながりを出発する生涯学習社会の形成	電話番号	0193-27-8454
施策②	地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	平成19年度～令和9年度		
事業の概要			
子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、地域住民の参画を得ながら、子どもたちに勉強やスポーツ、文化活動、交流活動などの学びの機会を提供し、安全・安心な活動拠点としての居場所づくりを行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
少子化や親の共働き世帯の増加等の社会的背景により、放課後の子どもたちの居場所づくりが課題となっている。放課後等における子どもの活動拠点として設置している放課後子ども教室は、子どもと地域を結び、安心、安全に遊び・学び・育つ場として理解浸透を図る。
目的
地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、活動を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等豊かな人間性を育成するとともに、地域社会全体の教育力向上を図り、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの活動拠点の確保 活動の企画調整を行う協働活動支援員（コーディネーター）の配置 地域住民等が子どもの見守りや学習サポートを行う協働活動サポーター（安全管理員）の配置 		
事業費		
R 7	R 8	R 9
3058 千円	3490 千円	3490 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
全ての子どもを対象として学習や体験・交流活動などを行っており、郷土愛の醸成や豊かな人間性の育成に繋がっているため全校での実施が望ましい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 地域学校協働活動体制推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	まちづくり課
施策①	学びと実践が循環しつながりを創出する生涯学習社会の形成	電話番号	0193-27-8454
施策②	地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和元年度～令和9年度		
事業の概要			
地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動本部を設置し、地域と学校の連絡調整を行う地域コーディネーターを配置することで、地域住民等の参画を得ながら、様々な地域学校協働活動を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
地域と学校のつながりの希薄化により、地域づくりに寄与する特色ある教育活動の低迷が危惧されており、郷土愛の醸成による次代を担う人材の育成が課題となっている。地域と学校の連携・協働による子どもの学習支援体制（地域学校協働本部）をつくり、地域住民等の参画により地域の特色を取り入れながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うもの。
目的
未来を担う子どもたちの成長を支え、「社会に開かれた教育課程」を実現するため、地域と学校が連携・協働し、社会総掛かりで教育を構築する。また、活動を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育成するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部の設置 ・学校と地域の連絡調整を行う地域コーディネーターの配置 ・学習支援活動をサポートする地域ボランティアの確保 		
事業費		
R 7	R 8	R 9
5418 千円	7282 千円	7282 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
全校での実施が望ましいと考えられるため、設置に向けて事業を進められたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石ラグビーレガシー継承事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	スポーツ推進課
施策①	豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進	電話番号	27-5712
施策②	スポーツによる交流人口の創出	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和2年度～令和8年度		
事業の概要			
ラグビーワールドカップの大きなレガシーである、ボランティアとの絆を継承するため、官民一体となって設立された「釜石ラグビー応援団」の運営補助により、市が行うラグビー試合のパブリックビューイングや地元クラブチームのラグビー試合などで、運営をサポートすることができ、Youtubeを活用した情報を発信することで、ラグビーを活用したまちづくりへの活動を支援する。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
ラグビーワールドカップ2019釜石開催のレガシー（遺産）として、多くのボランティア参加者があり、これらボランティア登録者の釜石市との継続的なつながりが必要である。また、市民のスポーツボランティア団体である「釜石ラグビー応援団」は設立初期であり、他地域とのボランティア団体と連携した事業展開には、市の補助と介入が必要である。			
目的			
釜石ラグビー応援団を基軸とした、ラグビーワールドカップ2019ボランティア登録者との連携による、釜石鶴住居復興スタジアムを活用したボランティア事業を展開し、ラグビーワールドカップ2019釜石開催のレガシーとして、将来にわたり市民・県民に愛され続ける身近なスタジアムとして、多くの方々の手により維持管理されることのほか、ラグビーをはじめとする各種スポーツやイベント等幅広く有効活用する。			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
釜石ラグビー応援団への補助及びボランティア募集による釜石鶴住居復興スタジアムの利活用事業の展開			
事業費			
	R 7	R 8	R 9
	1709 千円	1709 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
RWC2019 から続いているボランティア登録を維持すること、ボランティア参加者を増やすための取り組みを進めることは、スタジアムの持続的な活用が見込まれ、交流人口の拡大に寄与することから、引き続き実施すべき事業と考える。今後もボランティア参加者の満足度が高まるような事業を展開されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	ラグビーメモリアルイベント開催事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	スポーツ推進課
施策①	豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進	電話番号	27-5712
施策②	スポーツによる交流人口の創出	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和2年度～令和8年度		
事業の概要			
ラグビーワールドカップ2019釜石開催を想起させるラグビー試合を中心としたイベントを開催する事で、釜石開催で支援・連携関係が構築された関係者・団体・関係機関との絆の継承を図り、次の国際試合開催誘致に向けた市民のラグビー熱を醸成しつつ交流人口の増大につなげる。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催により、本市におけるラグビーの人気、価値がさらに高まったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ラグビーイベントや鶴住居復興スタジアムでのイベントが減少しており、盛り上がりやにぎわいが減少している。ラグビーのまち釜石を実感できる、ラグビーに触れられる機会の創出が必要となっている。	
目的	
ラグビーワールドカップ2019のレガシーを継承し、ラグビーを生かしたまちづくりの推進・イメージアップ・定着を図り、市民の誇りと郷土愛を醸成するとともに、ラグビーを通じた交流人口の増大を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
・釜石ラグビィグドリーム実行委員会（会長 小笠原順一）及び釜石ラグビー応援団（団長 中田義仁）と連携し、イベントの成功および円滑な実施に向けて必要な活動を行うことを目的として、9月25日～10月13日付近の祝祭日に釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、メモリアル絆マッチ、うのスタフドコーナー、ラグビー体験コーナー、震災復興支援働く自動車展、国際交流イベント等を開催する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
5396 千円	5396 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
交流人口の拡大やにぎわい創出が見込まれる。ラグビーによる盛り上がりの創出を考慮しながら、実施規模について引き続き検討をされたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 スポーツ合宿誘致推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	スポーツ推進課
施策①	豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進	電話番号	27-5712
施策②	スポーツによる交流人口の創出	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和2年度～令和8年度		
事業の概要			
釜石鶴住居復興スタジアム等を活用して市外・県外からのスポーツ団体合宿を誘致することにより、選手の育成や競技水準向上等スポーツ振興を図るとともに、誘致による交流人口の増大、にぎわい創出といったスポーツツーリズムの推進につなげるもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
人口減少、少子高齢化により、近年、市内中高生や一般の競技スポーツの水準が低迷しているとともに、施設の利用率が減少している。	
目的	
釜石鶴住居復興スタジアム等新たに整備した当市のスポーツ施設を活用し、市民の刺激、参考となる機会を創出することにより、選手の育成や競技水準の向上を図るとともに、スポーツツーリズムの推進を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市外の高校、大学等の運動部、企業等団体のスポーツ合宿を誘致する。		
事業費		
R 7	R 8	R 9
4582 千円	5432 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
市内スポーツ施設を活用した合宿団体が増加することにより、スポーツ交流人口の拡大と経済波及効果が期待できる。引き続き、補助内容を精査し、満足度を高める取組を検討されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 ラグビーによる人材育成事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	スポーツ推進課
施策①	豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進	電話番号	0193-27-5712
施策②	スポーツ関係団体等との連携強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和8年度		
事業の概要			
ラグビーワールドカップ 2019 のレガシーを次世代を担う子どもたちに引継ぎ、市内の小中学生がラグビーの魅力や楽しさに触れながら、心身の健康増進や体力の向上を図るとともに、世界に誇れる「ラグビーのまち釜石」としてのプライドを持った子どもたちの育成を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
ラグビーワールドカップを通して世界とつながった若い世代が、「世界の KAMAISHI」の市民としてのプライドの醸成が必要。
目的
ラグビーワールドカップで世界とつながった若い世代が継続的に世界とつながりを持てる機会をスタジアムから創造していくと同時に、釜石市民同士のつながりと世界に誇れるラグビーのまち釜石市民としてのプライドを持った子供たちの育成。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
「ラグビーのまち釜石教室」の実施		
事業費		
R 7	R 8	R 9
670 千円	670 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
RWC2019 のレガシーを引継ぎ、子どもたちが楽しくラグビーを学ぶことで、豊かな心の育成へとつながるものと期待できる。今後も各校のニーズを把握しつつ実施されたい。			

令和6年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和7年度～令和9年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	【③教育の充実】 体育施設整備事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/生涯学習・スポーツの振興	担当課	スポーツ推進課
施策①	豊かな生活と新たな価値を生み出すスポーツの推進	電話番号	0193-27-5712
施策②	スポーツ施設の利用促進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
4つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
既存施設の経年劣化により施設の老朽化が進んでいることから、市民のスポーツ環境を維持するため、市民・利用団体が安心・安全に利用できるよう各施設の修繕を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
既存の施設の経年劣化による施設の老朽化が進んでおり、改修工事を要望する声が多く寄せられている。
目的
施設を利用する市民・競技団体が安心・安全に利用できる施設整備を行うことで利用者の満足度の向上を目指すとともに、より多くの市民が体育施設を利用することで、市民の健康増進への意識向上を目指すもの。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①釜石市球技場サッカーピッチ人工芝張替 ②平田公園野球場及び釜石市球技場照明設備 LED リース ③市営プール改修工事 ④釜石鶴住居復興スタジアム芝生張替		
事業費		
R 7	R 8	R 9
122210 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
施設ごとの調査を行い、優先順位を見定めた上で、計画的に実施されたい。			